

MMY マッスーレポ No.2

日時 平成 30 年 10 月 31 日

場所 ふれあい歯科ごとう

参加者 五島先生 登世子先生 マニアック マッスー 欠席 ヨッシー

前回のマッスーレポを五島先生が気に入って下さったようで、今回もオファーをいただき第 2 回として記録させていただきます。僕自身の主観で稚拙な文章ですがどうぞお付き合いください。

1. MMY の目的について

僕たち MMY は結局何が目的だっけ？と言う原点に戻り議論をしました。やりたいことはたくさんあるけど、まず何をしていくか。結果として、障害を持った方が外出先で食事が取れるためシステムを構築することが目的を改めて整理することができた。『食べれない』→『食べたい』→『食べれる』→『でも外出先では食べれない』→『結果また食べれない』という負のサイクルを是正するシステムの構築を目指しスケールを作成する。この円環関係は家族ストレス対処理論の構図に似ていると思ったので、二重 ABCX 理論をモデルにさせていただきました。しかし、これ自体は個人と家族を理解するにはとても有用ですが、社会となるとまた別になるので、亜型と言うよりは完全に別物な感じです。それでも構図を『身体的』『社会的』『心理的』を円環関係としてまとめたスライドはかなりスマートにできているのではないかと思います（自画自賛そしてまとめてくれた栗原マニアックさん流石です）。詳しくはマニアックがスライドにまとめてくれます。項目については、僕たちが考えている事と、実際に障害を持った方が考えている事が乖離してしまっただけの問題との相関がなくなってしまうので、今後も見直しが必要と思われる。特に吉田さんの意見が重要になってくると思うので、次回は項目について議論を進めていきましょう。評価項目については大項目と小項目のように、分類ができると思われます。あとは重要な『受け入れてくれる店主の意気込み。』

2. 今後 MMY ができる事

障害者の食を考えると、その問題は多種多少で本人に対するアプローチと、社会に対するアプローチなど方法も様々。大井先生の介護レストランみたいに新食研食支援フェスで会場を作って、お店の人に出演してもらって何が食べやすかったが投票してもらおうといった案もできました。そこに多職種がいたらいいですね。まとめて食事の姿勢をマニアックが見ますので並んでくださいとか、ヘルパーをご希望の方はでいぐにでいさんにお任せくださいとか。全身状態の把握だったり、今後の生活の相談だったら僕だったりとか。また新食研には様々な職種がいるのでもっと包括的なアプローチが取れると思います。お店の人に対して管理栄養士や、バリアフリーを考える改修を提案するために PT.OT.Maniac が助言するとかできると思いました。市民の方に来てもらって健康リテラシーを向上させる機会にもなる。でもやっぱり好きなもの

くらい好きに食べれるのが一番いいと思うので、来た人が楽しむってのが一番重要ですよ。

今後僕たちの活動は多岐に渡っていくと思われま。摂食嚥下障害を持った人も、お店の人も対象とした『食支援コンサルティング』サブテーマは『障害に対する認知を変える』ってどうですか？

次回はまだ未定ですが **Abbey Road** みたいに全員集合でミーティングしましょう。